

# 例会報告

第2669回例会報告議事録

日時 令和4年5月24日（火曜日）

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ゲスト：なし

ビジター：なし

S.A.A.：米田会員

## 会長挨拶

依田会長



ロータリー報告からお話いたします。ロータリー誌にも掲載されていましたが、2022年度規定審議会の事をお伝えします。

4月10～14日にシカゴで規定審議会が行われました。世界中のロータリー地区代表議員約520名が出席し、うち60%が対面式、残りがZOOMでの参加となりました。

大きく3つの点に関して決議されました。

### 1. クラブ管理の試験的プロジェクト

この試験的プロジェクトは、グレートブリテンおよびアイルランドのロータリー（RIBI）およびオーストラリア、ニュージーランド、南太平洋諸国のクラブと地区に限られ実施されます。地区やゾーンの編成を変更するものだと思います。

次に我々に直接関係ある議案です。

### 2. 人頭分担金の増額

クラブがRIに支払う人頭分担金は、2022-23年度には半年ごとに35ドル50セントであり、その後、2023-24年度には半年ごとに37ドル50セント、2024-25年度には半年ごとに39ドル25セント、2025-26年度には半年ごとに41ドルに増額します。5年かけて毎年上がっていくことが決定したそうです。

### 3. ロータリーの雑誌購読

会員が雑誌の印刷版を要請しない限りデジタル版での購読を義務づけるという制定案は、代表議員によって否決されました。

デジタル版を選択している人は8%にすぎず、大多数は印刷版の購読を希望しています。さらに最近の調査では、会員の70%近くが紙の本や雑誌を読んでいると回答しました。

これからはデジタル化に向けて進んでいくという事です。

#### ・電子的な方針作成

2022年規定審議会では前例のないことが行われました。ZOOMを通じて全大陸から代表議員約200名が審議に参加しました。対面式とハイブリッド式の両方で審議会ができるようにしていくようです。

現在アメリカ合衆国第46代ジョーバイデン大統領が来日されています。テレビで見ていると大きいですね、身長182cmで学生時代はアメフトをやっていたとの事です。1942年生まれ79歳。お酒は飲まない、甘党のアイス好き、政治家の前は弁護士を営んでいたとの事です。岸田総理がcomebackジョーと言ったのは、2011年8月に東日本大震災の慰問として副大統領として宮城県名取市を訪問されていたからだと思います。

岸田総理とは良い関係ができているようです。岸田総理はスーツの色やネクタイなども気を使い同じような色合いで揃えてきました。シックな色合いがバイデン大統領は好きなようです。ジョー&フミオとファーストネームで呼び合い友情の深さがわかります。

現在の日米関係ではなく暦年のアメリカと日本との歴史の中でつながっていて、その通過点で見ることが大切だと感じました。ロータリーも昔からの歴代の先輩たちが築き上げた歴史があって、今の我孫子ロータリークラブがあるんだなと思います。

そんなことを考えていた時にテレビで井上圭司OB会員が出演されていました。お元気そうな姿で安心しました。某公共放送のファミリーヒストリーという番組で女優の高島礼子さんの歴史をたどる構成の中、高島さんのお父様の明治学院大学時代の同級生ということでお話しされて

いました。びっくりしました。

本日の卓話のお話でも出てくるかもしれませんが、我孫子ロータリーの礎を築いた大先輩です。今のロータリーを考える時に昔からの歴史が大切です。ベテラン会員の先輩方には是非語り部になっていただき色々な活動や歴史を聞かせていただきたいと思います。

本日も宜しくお願いします。

## 親睦委員会報告

小野会員代理



6月3日(金)の親睦会につきまして、コロナの検査をやってから行きましょうということで検査キットが届きました。参加者の方にお配りします。今日いらっしゃる方につきましては郵送させていただきます。

検査はできれば前日の夕方以降か当日にやっていただくと正確性が出ると思いますので、よろしく願いいたします。

キットの製造メーカーさんが動画をネットで流してくれていますので、そちらを見るとわかりやすいと思います。

## 出席委員会報告

日暮委員長



26名(出席免除者含む)出席(全員で32名)出席率81.25%

業務による欠席:石原会員、上村(英)会員、三枝会員、服部会員、福武会員、湯下会員

ZOOMによる出席:古谷野会員、塩毛会員、前田会員

## 幹事報告

本日、特にございません。

## 卓話「ロータリーで出会った人々」

鈴木会員



私が入会したのは約22年前です。その当時、私は50か51歳だったのですが、村越孝一会員のお父さん、私の家内の叔父さんでもある村越会員と井上先生に誘われて、じゃあ、ということで入りました。

当時、いろいろやっていました。ひとりひとりの特徴や個性、素晴らしさとかを教わって、ロータリークラブってすごい人達がいっぱいいるんだなと、希望の話が多いなと思いました。

井上先生は幼稚園で一緒に、まだまだ力のない私をピックアップしてくださいました。当時1業種1人という形だったのですが、井上先生は牧師という枠で、私は幼稚園の代表ということで入会させていただきました。

尾上先生はもう天国にいらっしゃいますが、尾上先生の思い出を語りたくと思います。2008年6月の卓話で尾上先生が話して下さった時の記事を読みます。

「先日、何かロータリーについて感じた事を話してくださいとの電話が幹事からありました。

今、私がロータリーについて感じているのは怒りだけです。私がロータリーに入会したのは昭和45年で、当時は1業種1人で業界で評判のよい善良な聖人が入会を許されました。私は星野病院長の紹介で難しい選考の後、入会を許されました。

例会出席の初日、我孫子を代表する錚々たるメンバーにちょっと尻込みしました。さすがロータリークラブだと思いました。ロータリーバッジをつけた時の感動は今でも忘れられません。出席から服装まで厳しく言われましたが、これぞロータリーとも思いました」

関根さん、ごめんね。ちょっと聞き難いかもしれませんが、「男性だけのクラブは、女性だけの国際クラブができた頃より女性の入会も奨励するようになりました。なぜ女性が、これが第一の怒りです」こういう時代でした。

「ロータリーの事業の拡大と費用の増加はクラブ会員にしわ寄せが来る。現在では責務のように寄付を強要する。奉仕団体だったはずがなぜ寄付団体になったのか」これが第二の怒りです。

1業種1人だったのが5人とした。従来の会員は業種の代表であったのに、奉仕にも熱が入りませ

ん。第三の怒りです。

ロータリー6月号16ページ、2007年の規定審議会の会員資格について、社会奉仕のできる人は職業に関係なく、極端に言うは無職でも会員になれるとなっています。業界の代表として胸を張って職業奉仕に力を注いできた会員が外に放り出された感じでした。これが第四の怒りです。

上記のことは会員増強の手段として出た策でしょうが、これでは増強どころか減少にもなりかねない。クラブに20年以上在籍の会員は大半がそのように危惧しています」

当時、こういう考え方で先輩方ががんばっていらっやいました。

尾上先生の話でひとつ忘れられないものがあります。

東京大空襲の時の話です。尾上先生は歯科大の学生だったそうです。燃え盛る炎の中で先生自身が逃げ惑っていた時に、「お兄さん、助けて!」という少女の声が聞こえて、行ってみたら少女が助けを求めていました。でも自分自身が命からがらだったので、その命を救うことはできなかった。助けることができなかつた、尾上先生は涙ながらに話されていました。その時のことを私は忘れたことがありません。

尾上先生は、2009年だったか、私が最初に会長になった時に、「鈴木君、このバッジが重くなるようにやってよ」と言われ、私は自分が軽いからそう言われたのかと思ってちょっとつらかったのですが、よし、がんばろうと思いました。

戦争体験とか、少女に対する申し訳ないという気持ちが残っていらっやるのか、まなざしが優しく癒されました。厳しい人だけれど、その中に優しさが潜んでいるような方でした。

2点目の話です。

ロータリーに入って2年目ごろだったか、井上先生がスリランカに一緒に行かない?と誘ってくださいました。

井上先生はかつて、ソーマワンサさんというスリランカのお坊さんが日本に留学してある保育学校にいて、そこで教鞭を取っていた時に出会い、意気投合して、是非スリランカにも幼稚園を作りたいということで、我孫子ロータリーの補助金を集めてスリランカに幼稚園を作る運びになりました。

井上先生は会う人会う人に「スリランカに幼稚園作るから、はい、金」と所かまわず人かまわず寄付を募っていらっやいました。合計1000万円位集まり、同額補助で合計2000万位で学校法人を作りコロンボに幼稚園を作りました。

補助を受けるには、現地でちゃんと存続しているか見学に行き証明しなければならないので、その時の旅行に私と上村晃一さんと、井上先生ご夫妻と甥っ子さんとお母さんと6、7人でコロンボに行きました。

今でもスリランカは困窮しているようですが、活気がありました。そこで立ち上がった学校法人に行った時、学校のために寄付してくれた人達が来るんだということで、道路の両端に人がズラーっと並んでいて、歓迎してくれました。

向こうでの思い出はいろいろあるのですが、私たちはいいホテルでおいしい食事をいただいたのですが、ある所でイベントをしていてお母さんたちが作っていたカレーを試食させてもらったら、塩だけの黄色いカレーでした。はっきり言っておいしくはないです。スリランカの人達は本当に貧しいんだなと思いました。

歓迎会で小学生や幼稚園生が踊ったり歌ったりして見せてくれたのですが、一人一人の子供達目が日本の子供達以上にきらきら輝いていました。

私達の前を通る時も子供達は邪魔にならないように、かがんで歩いたり礼儀正しくて、そういうことも忘れられません。

あと、この方も亡くなった方ですが、写真屋さんをされていた落合先生という方がある時、「鈴木君、そのネクタイ地味すぎるよ」と自分のネクタイをはずして「これあげるよ」と、このネクタイをくださいました。落合さんの愛情を感じるので嬉しくて今日して来ました。

今日は佐藤先生のお許しをいただいてお話ししますが、東日本大震災の時に石巻まで週末にいろいろ活動されに行つて、支援物資や衣類とか生活必需品を奥様と車で運ばれていました。

震災後にロータリーで石巻を訪ねました。その時は大勢で行き、大川小学校にも行きました。上に険しい山があり、ここに登れば大川小の悲劇はなかつたんだなと思いました。志賀会員がお経をあげてくれて、みんなでお参りしてきました。

佐藤先生のお知り合いを通して我孫子ロータリークラブで何か向こうで手伝えることはないかなと思いついたのですが、ロータリアンは年齢的に労働ができるわけではないし、わかめ等をたくさん買わせていただきました。

いろんな所で現地の方々から私達に大変よくしてくださいました。いつかまたロータリーで石巻を訪ねていけたらいいなと思います。

話は尽きないのですが、野田佳宏君が皆勤賞ではないでしょうか。佳宏君のお父さん、野田進さんも全く休まない人でした。私のゴルフの好敵手でした。

本当に若い方が今たくさんいらして、僕が4人目の年寄りになって、いつの間にか年寄り組になっていて驚きです。

ロータリーって何のために入るの？ロータリーに入ったら何がよくなるのか？何が育つのか？それぞれ価値観は違うと思います。

ロータリーの普遍的な良さっていうのは奉仕の理想と言いますが、人のために尽くしていくというスピリットを毎週来て学ぶのがロータリークラブだと思います。

私がお話したのは私の中に生きている忘れられない思い出ですが、それ以外にも本当にたくさんあります。ロータリーに長年在籍された一人一人からいい話を伺って、一人一人の人としての質が上がっていくことの方がいっぱいお金を稼ぐことより喜びは大きいと思います。

今日お話したのは天国にいる方達ばかりなので、こんな話をしていると、みんな天国でにやにやしてるんじゃないかと思います。おまえそろそろ早く来いよと言ってるんじゃないかと、そんなことを思います。

最後に星野邦夫先生の話をしてします。時々話していますが、湖北白ばら幼稚園というのは創設者は星野邦夫先生です。

星野先生は優秀な外科医であると同時に社会のために病院を3つ作られて、社会のために小池会員が継承している東進、お掃除の会社を作られ、幼稚園も作られました。

私の家内の父親が顧問弁護士をしていて、地元、東葛の先輩後輩ということもあり結びつきが強かったです。

僕は実は若い頃に心を病みました。27歳で四国に帰って、兄貴2人が歯医者をしてたので、そこで技工師をしたり事務長をしたりして世話になりました。私の家内は2人娘の長女だったので、家内の父親はこちらに呼び戻したいというのもあってか、星野先生がフィリピンに行かれるということで幼稚園をやる話があるけど来るかい？と私に声をかけてくれました。それでこちらに来たのが僕が35歳の時でした。

当時は白ばら幼稚園は60人くらいの人数でした。給料もほとんど取れなくて、草刈りのアルバイトもして生活していました。でもそういう環境が背中を押して追い風になって家内も私もがむしゃらになって幼稚園の仕事をやりました。

星野先生はあまり多くを語らない方でしたが、先生がフィリピンに行かれる前に、新橋の駅前ビルにある父の事務所で仕事の引き継ぎの会議を終えて常磐線に乗り、降りぎわに「いい幼稚園にしてね」と先生はおっしゃいました。その言葉を今でも忘れません。

星野先生はクリスチャンだったので、白ばら幼稚園の中に教会がありました。学校法人にした時に十字架をはずさなければならぬということで、近くに日本キリスト教会の我孫子教会を作られました。

私が受洗したのは22年前頃で、その時は違う教会に行っていて、今は家内と我孫子教会に在籍しています。おじいちゃんおばあちゃんばかりの小さな教会で私共が若手です。星野先生の奥様、よしえ先生に毎週会っています。

よしえ先生からだいお前に、星野先生のフィリピンでの活動について書かれている冊子を預かったのですが、また卓話の時間をいただいた時にお話します。いつかお時間のある時に読んでいただけたらと思います。

つたない話でしたが、以上で卓話を終わります。ありがとうございました。



## 閉会の言葉

依田会長

本日は昔の我孫子クラブの話をありがとうございました。今は地区でやっているようなことをひとつの我孫子クラブでやられていて、本当にすごいクラブだなとつくづく感じさせていただきました。ありがとうございました。

例会を終了いたします。

## ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
依田会長	鈴木公三先生すばらしい話ありがとうございました。昔の我孫子RCのすごさを感じました。私達も頑張ります。	1,000円
柳田幹事	鈴木会員 ありがとうございます。	1,000円
荒井会員	鈴木会員 卓話ありがとうございます。	1,000円
梶会員	鈴木会員 卓話ありがとうございます。	1,000円
上村文明会員	鈴木公三会員 卓話ありがとうございます。	1,000円
木村会員	卓話 有難うございました。	1,000円
倉持会員	鈴木会員 卓話ありがとうございます。	1,000円
小池会員	鈴木会員 卓話ありがとうございます。	1,000円
佐藤会員	鈴木さん卓話ありがとうございます。	1,000円
鈴木会員	卓話の機会を感謝。	2,000円
瀧日会員	鈴木会員、なつかしいお話をありがとうございました。	1,000円
寺井会員	卓話ありがとうございます。	1,000円
野田会員	鈴木会員 卓話ありがとうございます。	1,000円
日暮会員	卓話ありがとうございます。	1,000円
藤本会員	鈴木先生、卓話を頂きありがとうございます。星野先生の冊子は地区委員へ回します。	1,000円
松本会員	卓話ありがとうございます。	1,000円
村越会員	鈴木会員 卓話ありがとうございます。	1,000円
米田会員	鈴木会員 卓話ありがとうございます。	1,000円
当日計		19000円
今期累計		447,559円

## 寄付用

ウクライナ、トンガ王国支援金

今期累計 81,000円

### 今週の表紙「手賀大橋」

手賀大橋（てがおおはし）は、柏市と我孫子市を結ぶ橋で、手賀沼のほぼ中央に位置しています。橋のデザインは“水鳥のはばたき”をイメージしています。

橋を挟む我孫子市側には「手賀沼親水広場」、「鳥の博物館」、柏市には「手賀の丘公園」などの施設があり、水と自然の中で癒しのひとときを過ごす事ができます。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。